

コード	名称	区分	コード	名称			
事業名	933 地域振興事務経費(しまがはら夏まつり開催補助金)	会計	01	一般会計			
		款	02	総務費			
		項	01	総務管理費			
基本施策	61 市内外から多様な主体を受け入れる、開かれたまちをつくる	目	06	企画費			
		細目	122	地域振興経費			
行革大綱の重点事項番号		6、7		細々目	01	地域振興事務経費	
担当部課	コード	600100		担当者氏名	南 朋子	連絡先	59 - 2053
	名称	島ヶ原支所 振興課					(内線) 61

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	市民、来場者	※対象件数
成果(どうする)	夏まつりを開催することにより、子どもから高齢者まで交流する機会ができ、世代間、住民相互の交流ができます。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成 4 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	1)しまがはら夏まつり実行委員会に開催補助金を助成した。 ・平成21年8月1日(土)(8月の第1土曜日)に開催した。 ・「島ヶ原地域まちづくり協議会」が中心となり住民主体で実行委員会を組織し運営を行った。 ・ステージ・販売ブースでは、地元島ヶ原や伊賀市内からの団体が出演・出店をした。・協賛金で花火の打ち上げを行った。 2)行者堂トイレ管理を町区自治会に委託した。行者堂トイレの修繕を行った。	
社会情勢の変化等	財政計画に係る補助金等の見直しにより、平成20年度において補助金を30%削減した。行者堂トイレの補修等が必要になってきた。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積(延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			企画会議・実行委員会会議	回	目標 6 実績 7	目標 6 実績 7

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				しまがはら夏まつり来場者数	来場者数を増やすことが、地域振興の状況を示す指標となる。	人	目標 4,000 実績 4,000

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	2,901	2,461		2,448		2,448		
Aの財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	2,801	2,400		2,400		2,400	
一般財源	100	61		48		48		
事業投入人件費(B)	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	
フルコスト(A)+(B)	3,621	3,181		3,168		3,168		

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
有効性	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
達成度	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
効率性	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
	当初設定した計画を 100% 実施している。	
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
	【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
昨年度の取組状況	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	○
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	まつりの内容を充実させ、地域市民の参加をさらに促進し、満足度・達成感を共有する。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 まつりの内容を充実させるため、企画運営会議等を7回実施した。約4,500人の来場者があった。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	増永 由美
【方向性】	現状維持
【理由】	地域住民は勿論のこと、誰もが気軽に参加できるような場をつくと共に、地域の活性化に結びつけるため、PR活動の展開に努め、尚一層、来訪者の増大をめざす。
現時点における課題、その他	夏まつりのメインでもある打ち上げ花火の充実と、企画内容を充実させる。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	温泉施設で開催しているので、地域住民は勿論のこと、観光客を誘導し、来場者数が増加するよう努力する。